



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6167 URL <https://www.fujidie.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保井 恒之  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役業務本部長 (氏名) 春田 善和 (TEL) 03-3759-7182  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	8,210	△1.9	441	△23.6	501	△24.1	380	△16.4
2023年3月期第2四半期	8,367	0.0	578	△14.7	661	△7.7	454	△10.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 543百万円(△14.1%) 2023年3月期第2四半期 632百万円(11.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	19.15	—
2023年3月期第2四半期	22.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	26,629	20,325	76.3
2023年3月期	26,253	20,392	77.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 20,325百万円 2023年3月期 20,392百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	3.6	1,170	1.7	1,230	0.4	890	△31.1	44.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	20,000,000株	2023年3月期	20,000,000株
2024年3月期2Q	127,902株	2023年3月期	164,998株
2024年3月期2Q	19,847,164株	2023年3月期2Q	19,812,264株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限の緩和等による経済活動の正常化が進み、景気は穏やかに回復しているものの、ウクライナ情勢に伴う資源・エネルギー価格の高騰や世界的な物価上昇、各国の金融引き締めによる急激な為替変動、中国経済の減速等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは「革新（勇猛果敢）」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。

また、「筋肉質な企業体質への転換、中長期の成長基盤の構築」を目指し、2022年3月期から3ヵ年を対象期間とした中期経営計画を策定しており、1. 生産性向上・業務効率化、2. 次世代自動車への対応・拡販、3. 新成長エンジンの創出、4. 海外事業の強化、を重点施策に掲げ、最終年度となる2024年3月期も諸施策に取り組んでおります。

具体的には「生産性向上・業務効率化」として、原価率低減目標を当初の3.0%から4.4%（いずれも2020年3月期第2四半期比）に上方修正し、モデル工場における自動搬送装置や自動化ロボットの導入、各生産拠点における加工条件や設備レイアウトの最適化等を進めてまいりました。

また「次世代自動車への対応」としては、車載用モーターコアの抜き金型向けとして市場投入した新素材（V G48）の拡販や、材料ラインナップを拡充するための新素材開発に注力しております。

「新成長エンジンの創出」については、超硬合金の主原料であるタングステンやコバルトの使用量を大幅に削減した新素材「サステロイ（S T60）」の販売を開始する等、持続的に成長し続けるための新たな成長基盤の構築に向けた取り組みを進めております。また、監視カメラ・センサーなどに求められる高性能レンズ成型に適した高熱膨張合金「T R05/T R30」の拡販を本格化させております。

さらに、「海外事業の強化」については、より機動的な施策実施体制を構築するため、2023年7月に海外事業本部を設置するとともに担当役員を擁立し、海外販売拠点の増設準備等を進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,210百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

超硬製工具類では、一部の半導体関連需要が市況の変化等により低調となり、関連する工具の販売が低調に推移しましたが、海外向け溝付きロールや一部の鋼管用引抜工具の販売が好調に推移した結果、売上高は2,353百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

超硬製金型類では、光学素子成型用金型の販売が好調に推移したものの、部品メーカーの在庫調整の影響を受け、自動車部品用金型の販売が低調に推移した結果、売上高は1,894百万円（前年同期比8.8%減）となりました。

その他の超硬製品では、一部の半導体関連需要が継続し関連する金型の販売が堅調に推移したものの、ゼロコロナ政策以降、景気低迷が継続している中国市場の影響を受け、中国向け素材販売が低調に推移した結果、売上高は1,958百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

超硬以外の製品では、一部の鋼製自動車部品用工具・金型の販売が堅調に推移したものの、引抜鋼管の売上が低調に推移した結果、売上高は2,003百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

また利益につきましては、生産性向上・業務効率化の施策や原材料等の高騰に伴う価格改定等に一定の成果があったものの、原材料、電力燃料費の高騰や熊本冶金棟建設に伴う一時的な費用増の影響を受け、営業利益は441百万円（前年同期比23.6%減）、経常利益は501百万円（前年同期比24.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は380百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

なお、当社グループは耐摩耗工具関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、26,629百万円（前連結会計年度末26,253百万円）となり、376百万円増加いたしました。流動資産は15,361百万円（前連結会計年度末15,724百万円）となり、363百万円減少いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が386百万円減少、原材料及び貯蔵品が184百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は11,268百万円（前連結会計年度末10,528百万円）となり、740百万円増加いたしました。これは主に、建設仮勘定が1,083百万円減少したものの、建物及び構築物（純額）が1,373百万円増加、機械装置及び運搬具（純額）が223百万円増加したことによるものであります。

## (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、6,304百万円（前連結会計年度末5,860百万円）となり、444百万円増加いたしました。流動負債は4,650百万円（前連結会計年度末4,197百万円）となり、453百万円増加いたしました。これは主に、未払費用が482百万円減少したものの、賞与引当金が510百万円増加、未払金が420百万円増加したことによるものであります。また、固定負債は1,653百万円（前連結会計年度末1,662百万円）となり、9百万円減少いたしました。

## (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、20,325百万円（前連結会計年度末20,392百万円）となり、67百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が380百万円増加、剰余金の配当により利益剰余金が634百万円減少、為替換算調整勘定が139百万円増加したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ92百万円減少し、7,101百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益542百万円、減価償却費451百万円の計上、賞与引当金の増加509百万円、未払費用の減少483百万円などにより1,216百万円の収入（前年同期は116百万円の収入）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出671百万円などにより724百万円の支出（前年同期は1,010百万円の支出）となりました。この結果、フリー・キャッシュ・フローは491百万円の収入（前年同期は894百万円の支出）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額633百万円などにより641百万円の支出（前年同期は444百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月15日付の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,572	6,511
受取手形及び売掛金	3,110	2,723
電子記録債権	1,387	1,435
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	201	348
仕掛品	1,741	1,716
原材料及び貯蔵品	1,521	1,336
その他	193	292
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	15,724	15,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,598	4,972
機械装置及び運搬具（純額）	2,013	2,236
工具、器具及び備品（純額）	226	300
土地	2,713	2,729
建設仮勘定	1,173	89
有形固定資産合計	9,724	10,328
無形固定資産		
その他	85	205
無形固定資産合計	85	205
投資その他の資産		
投資有価証券	279	308
長期貸付金	10	7
繰延税金資産	382	373
その他	46	44
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	718	735
固定資産合計	10,528	11,268
資産合計	26,253	26,629

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,013	1,838
短期借入金	33	37
リース債務	16	15
未払金	586	1,006
未払費用	667	185
未払法人税等	132	174
賞与引当金	209	719
役員賞与引当金	39	-
その他	498	672
流動負債合計	4,197	4,650
固定負債		
リース債務	38	33
繰延税金負債	10	9
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	1,610	1,606
その他	0	0
固定負債合計	1,662	1,653
負債合計	5,860	6,304
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	164	164
資本剰余金	1	1
利益剰余金	19,821	19,566
自己株式	△107	△83
株主資本合計	19,879	19,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	142
為替換算調整勘定	338	477
退職給付に係る調整累計額	53	55
その他の包括利益累計額合計	513	676
純資産合計	20,392	20,325
負債純資産合計	26,253	26,629

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,367	8,210
売上原価	6,217	6,110
売上総利益	2,149	2,099
販売費及び一般管理費	1,571	1,658
営業利益	578	441
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	7	5
受取賃貸料	13	11
為替差益	50	27
補助金収入	6	8
その他	4	5
営業外収益合計	86	64
営業外費用		
支払利息	1	1
寄付金	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	3	4
経常利益	661	501
特別利益		
固定資産売却益	3	41
特別利益合計	3	41
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	20	0
減損損失	1	0
特別損失合計	21	0
税金等調整前四半期純利益	643	542
法人税等	189	162
四半期純利益	454	380
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	454	380



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	454	380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	22
為替換算調整勘定	197	139
退職給付に係る調整額	4	1
その他の包括利益合計	178	162
四半期包括利益	632	543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	632	543
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	643	542
減価償却費	453	451
減損損失	1	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	346	509
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△75	△39
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13	△4
受取利息及び受取配当金	△12	△10
補助金収入	△6	△8
支払利息	1	1
固定資産売却損益 (△は益)	△3	△41
固定資産除却損	20	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△69	356
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△407	68
仕入債務の増減額 (△は減少)	57	△187
未払金の増減額 (△は減少)	△35	235
未払費用の増減額 (△は減少)	△501	△483
その他	△37	△80
小計	390	1,311
利息及び配当金の受取額	12	10
利息の支払額	△1	△1
補助金の受取額	6	8
法人税等の支払額	△290	△131
法人税等の還付額	-	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	116	1,216
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△361	△385
定期預金の払戻による収入	280	376
投資有価証券の取得による支出	△0	△1
有形固定資産の取得による支出	△919	△671
有形固定資産の売却による収入	5	43
無形固定資産の取得による支出	△2	△89
固定資産の除却による支出	△13	-
貸付金の回収による収入	0	2
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,010	△724

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4	4
短期借入金の返済による支出	△4	△4
リース債務の返済による支出	△9	△7
配当金の支払額	△435	△633
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444	△641
現金及び現金同等物に係る換算差額	113	57
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,224	△92
現金及び現金同等物の期首残高	7,518	7,193
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,293	7,101

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。